

鎌倉広町の森市民協議会ニュース



発行：特定非営利活動法人 鎌倉広町の森市民協議会

理事長：家原義靖 (0467-32-3033)、常任理事：森田邦彦 (0467-32-1083)

ホームページアドレス：<http://www.hiromachinomori.org>

【2011年度総会の開催】～実施設計に向けて

5月22日(日)午後1時30分より腰越行政センターで、2011年度の当協議会の総会が開催され、正会員110人のうち、27人(書面による委任者数53人)が出席しました。

理事長挨拶のあと、松尾 崇 鎌倉市長の祝辞を大橋理事が代読。議長団に大屋、栗原両副理事長を選出し、以下の議案の報告と審議を行ない、全て満場一致で承認されました。

・第1号議案：2010年度事業報告 ・第2号議案：2010年度収支報告と監査報告
 ・第3号議案：2011年度事業計画 ・第4号議案：2011年度収支計画
 ・第5号議案：役員(理事)の選任について



第1号議案では、①市と今後の新しい市民組織のあり方(枠組み協議)の検討を行なったこと、②広町田んぼの会が中心となり、乾燥化が進んでいた御所谷奥に川から水を引き、一定の成果を上げたこと、などが報告されました。第4号議案では、今年度の重点目標として、これまでの保全活動の実績と市民の意見を「実施設計」に反映することなどが提案され、併せて広町5つの会などの2010年度の活動概要と2011年度の活動計画が報告されました。第5号議案では、任期途中で退任する田中篤治氏に代わって、金森英樹氏が新理事に選任されました。

【第1回植樹祭の開催】～子ども55人、大人56人が参加

5月15日(日)、広町森の会主催の第1回植樹祭が開催されました。当日は、すがすがしい五月晴れに恵まれ、9時過ぎには、近隣の子ども会や、かまくら緑の探偵団の親子などが続々と集まってきました。

今回の植樹はヤマザクラ、コナラ、クヌギ、シラカシの13本です。子ども4～6人ずつ13班に分かれ、森の会が育てた苗木を掘り起こし、御所ヶ丘住宅地裏の植樹場所の広場に移動。広場では植樹箇所には番号が付いた竹の棒が立っていました。各班は、教えられた手順に従い、さっそく穴掘り開始。スコップなどで掘りはじめましたが、もともと埋め立てられた土地なのでなかなか思うよう掘れません。スコップの上に乗るなど悪戦苦闘。大きな石ばかり出てきた班は別の場所に移動しました。それでも子どもたちは元気に作業。予定の11時半過ぎに何とか無事に植樹することができました。



【4月～5月の保全・維持管理活動】

● 「広町田んぼの会」

6月11日（土）に6回目の田植え祭を催します。例年通り、おにぎりを去年の収穫米で作り、飲み物を添えて実費300円（高校生以下無料）で提供。年ごとに参加者が増えるので、ことしは去年より約90人増の450人を想定。植えるのは、うるち米4.8アールと、もち米1.2アール。苗は去年に続き、粃から自前で育てました。4月中旬に種蒔きをしたあと、低温が続き、苗の成長がもう一つ。田植えを例年より1週間、遅らせました。（田植えを待つ苗：図）



● 「広町畑の会」

ムギ以外は何もなかった畑地に、4月はサトイモ、ジャガイモ、ナガイモなどの植え付けやアイ、カボチャなどの種まきをしました。5月はコンニャクイモの植付け、サツマイモの苗植え、ゴマの種まきをしました。

昨年はスズメの餌場となった麦畑に早めに網を掛け（図）、6月中旬の収穫に備えています。



● 「広町森の会」

4月から5月上旬にかけて、植樹祭に向けた準備作業をしました。①小竹ケ谷の苗木畑からヤマザクラとシラカシを、峯山からコナラ、クヌギを選定。②峯山のコナラとクヌギを掘り、荒縄と根巻き亜麻布で梱包し埋め戻し。③植樹場所の御所ヶ丘住宅地裏台地では草刈りなどの準備作業。（図）④作業の後に、ポスターの作成、植樹祭の手順、役割分担などの打ち合わせ。

植樹祭当日は天気にも恵まれ、大勢の子どもたちが集まり、成功裡に終わりました。



● 「広町自然観察の会」

広町緑地にはヤマグワが多くあり、この時期にヤマグワの実が赤や黒紫色に熟します。（図）その実は生食、ジャム、桑酒（果実酒）になります。また、高校で学んだカエルの発生時期に桑実胚期を覚えている人も多いのでは……。ヤマグワの実の凸凹した形と胚の形が似ていることから使われました。

6月はゲンジボタル、7月はヘイケボタルの季節です。足元をしっかりと整え、マナーを守って、夜の広町をお訪ね下さい。広町の自然が身近に感じられます。



● 「広町散策路の会」

七里ガ浜浄化センター入口階段設置と御所川沿いの道を引き続き整備しました。また、竹ケ谷の「二本橋」から「きはち窪」までの散策路は、山際の細い道で6～7月のホタルの時期に安心・快適な鑑賞ができるように整備。崖ふちに2メートル間隔に高さ50センチの杭を打ち込み、ロープを張りました。（図）

<樹名板の取り付け>

散策路の会、自然観察の会、森の会の有志13人でチームを編成。昨年9月に散策路沿いの樹木44種と78本を選定。1月に樹名板の作成と樹名書き、2～3月に樹名板を取り付けました。6月頃に取り付けた状態の再確認を行います。広町散策の際にお楽しみ下さい。



【4～5月のトピックス】

● 土嚢 200 個を積み、3つの池を作った

～ホトケドジョウ救出、12人が共同作業

竹ヶ谷の乾燥化が進み、生息する水場を失いつつある絶滅危惧種のホトケドジョウを救うため、鎌倉広町の森市民協議会と広町5つの会の有志12人が5月14日（土）午後、共同作業として、通称2本橋の上・下流に3つの池を作った。（右図）



土嚢を200個も作って2段に積み、流れを堰きとめた。（下図）

橋の上流側にできた池の堰堤は、約40メートルに及ぶ。土嚢を積み、水が溜まりだす。「新大池」が誕生した。まだ作業が続いているうち、クロスジギンヤンマが産卵を始めた。ホトケドジョウを救出する池は、同時にビオトープの役割を果たしそうだ。



6～7年前まで、この一帯は湿地だったが、アズマネザサが茂るまで干上がって、ホトケドジョウは水場を求め、2本の谷川をさかのぼって、辛うじて生き延びている。ホトケドジョウの救出と湿地化がこの共同作業の目的。新大池のほか、小規模な池を2か所に設けた。近く産卵期を迎えるホトケドジョウは3つの池のどれかに、安心して子孫を残すだろう。翌日、新大池でカルガモが2羽、餌を漁

っていた。最下流の小池には、カワトンボが群れていた。

● かまくら緑の探偵団～今年度最初の活動 4月24日（日）

青空と鮮やかな新緑の中、ジャガイモの植え付けをしました。畑の会、黒川代表の説明のあと、準備した畝に、竹の棒で間隔を見ながら種イモを並べていきます。最初は不安そうに置く子などもいましたが、全部並べ終わったところで土を被せていくので、深さも平均に上手に植えられました。



その後、広場に戻って、作文発表会を行いました。9点の応募作品の中から当日参加の6人の子どもたちが発表してくれました。田植えや稲刈りの思い出、水辺の生き物の観察、かかしづくり、収穫祭のお手伝いをしたことなど。今回は、その中から麦踏みのことを書いてくれた作品をご紹介します。

「楽しかった広町」

腰越小学校 3年 森 有彩

1月30日に麦ふみをしました。さいしょはとてもむずかしいかなと思ったけどやっているうちに楽しくなりました。ふつつう野菜やこく物はふんではいけないのに麦だけはふんでいいとは、びっくりしました。私はスコップで土をかけ、その後にやさしくふむのかと思っていました。麦はまずふんでから足で土をかけるというやりかたを初めて知って、おどろきました。また来年もやりたいです。ふみ始めた時は、とっても、寒く、小川や田んぼに氷がはっていました。長ぐつで氷をとろうとしたら、「パリン！」とわれてしまいました。手でとったらすごく冷たかったです。大きいもので厚さは3cmぐらいです。でもたくさん水が流れているところでは氷がはっていませんでした。

広町のいいところは自然がそのままのこっていて、ほうけんがたくさんできることです。私が大きくなっても、広町がこのまま自然の姿だとうれいす。

【理事会の報告】

第 86 回理事会（4月9日）

● 報告事項

① 5つの会連絡会(4月2日)

市民協議会と市との枠組み協議、実施設計勉強会の開催、共同作業、各会の情報連絡など

② 各会の3月報告と4月計画

- ・ 田んぼの会：御所谷の給水作業に目処をつけ、田植えの準備（田うない、育苗）
- ・ 畑の会：ニンジン、ゴボウの種まき、4月はジャガイモの植え付けなど
- ・ 森の会：竹林の整備を一段落し、5月の植樹祭に向けて準備中（苗木の選定、植樹場所整備）
- ・ 自然観察の会：水質調査、半夏生群生地の枝谷戸の手入れ
- ・ 散策路の会：散策路の整備の優先順位づけ。4月は竹ヶ谷の整備を予定
- ・ 5つの会で4月に竹ヶ谷の実地調査をし、実施設計へ反映

③ 各チームの3月活動

- ・ パトロール：案内標識の紛失多く、新しく設置
- ・ 探偵団：3月は雨天で中止、4月は畑の作業後に総会と作文発表会

④ もののふの道ランドワークとの対話：今後の保全活動での協調に合意

● 審議事項

- ① 総会関連事項：総会用資料の検討。今後の作業と日程を確認

第 87 回理事会（5月1日）

● 報告事項

① 各会、各チームの活動状況

- ・ 田んぼの会：苗の生育順調。田植祭は6月11日（土）を予定
- ・ 畑の会：震災の影響でサツマイモの苗の入手にトラブル
- ・ 森の会：5月15日（日）予定の植樹祭の諸準備
- ・ 自然観察の会：トキワツユクサの除去。5月はカワトンボの調査を予定
- ・ 散策路の会：ホテルの時期の安全対策として「二本橋」から「きはち窪」へロープ張り
- ・ ホームページ：PDFファイルの更新が増加しており、データベースの拡張を検討

● 審議事項

- ① 総会関連事項：総会の役割分担と当日のスケジュールを確認
- ② 実施設計関連：4月30日、現地調査を踏まえ、実施設計検討会で決まった二本橋の上流に土嚢を積む作業を、5月14日に共同作業で行うことを確認

< 4～5月の各会への支援 >

- ・ 畑の会：18,872円～コンニャク種イモ、ジャガイモ種イモほか
- ・ 共通(5つの会)：6,924円～ガソリン30リットルほか

【編集後記】春先の寒さもあり、ヤマザクラや桐の花の開花が遅れましたが、連休も過ぎた5月中旬には、広町は素晴らしい新緑に包まれ、多くの市民が訪れています。今年度の総会を契機にして、広町を活動拠点にしている自主保育グループ「でんでんむし」（団体正会員）から、25人が正会員として加入。広町の諸活動の次世代を担う方々として、大いに期待しています。（家原）